

★「個が光る調和のまち・一戸」の創造を目指して

Public Relations 広報いちのへ Ichinohe 12

Dec.
2017
No.665



特集 ～いつまでも、自宅で過ごしたい～

在宅医療の可能性

目次

4 新一戸町長に田中辰也氏が就任

8  いまでも自宅で過ごしたい
在宅医療の可能性

16 まちの話題

一戸小で復興支援講演会
一戸社交ダンス愛好会が30周年

町教研で町内児童生徒が遺跡案内

ほか

18 まちからのお知らせ

保健だより

20 保健だより

22 元気に活動中。一緒に活動しませんか?
さくらの会
短歌・俳句一戸町文化協会短歌・俳句部会

★一等星

上手にできたよ（摺糠児童館）

24 たより

御所野縄文博物館／運動公園
図書館／コミュニティセンター
水環境課／一戸交番／一戸消防署

26 子育て知恵袋

「親から子へ—伝えるものと伝わるもの」
広報クイズ

28 まちのお知らせひろば

30 第二公設クリニツク一戸森眼科開院

32 イチノヘジテン
一戸町地域おこし協力隊任命式

今月の表紙



患者宅で訪問歯科診療を行なう城歯科医師（在宅医療の可能性・11月27日、関連8ページ）

師走

いちのへ再発見（朴館家住宅）

小鳥谷朴館付近（十二月二日・午後一時十一分）

地域の力を活かし 一戸町の自信と誇りを 育てましょう



新一戸町長就任 新しい一戸町へ
5つのマニュフェスト (公約)
た つ や

田中辰也 (50)
Tatsuya Tanaka

プロフィール
Profile
昭和42年2月一戸町小鳥谷生まれ。福島大学経済学部卒業後、大手商社入り。前一戸町議会議員。趣味は料理。

5つのマニュフェスト

これから田中町長の町政（任期4年）が始まります。その要となる5つのマニュフェストをご紹介します。

次の世代へ一戸町をより良い形で引き継ぐために大切なことは「地域の力」。

町の皆さん、一人ひとりが自信と誇りを持つことで、新たな一戸町へと変わります。

振興

将来を担う人材を育む環境作りに努めます。

給付型奨学金の創設と帰郷後の奨学金返済相当分補助の実施

特色ある義務教育の実施

幼児教育の充実

児童生徒の伸びしろを後押しする教育

一戸高校への積極的支援

高校生の町への積極的かかわりを促進

運動公園や武道場への大学高校などの合宿の誘致

部活動などに係る経費の一部支援

健康長寿

妊娠前・出産から子育て思春期までの切れ目ない子育て支援

受診率向上で、早期発見早期治療により医療費を削減し、健康寿命を延ばす

買い物弱者への支援を民間事業者とともに検討

高齢者世帯が共同生活できる住居などを設け、安心して生活できる環境を確保する

高齢者が生きがいを持ち、生き生きと生活できる環境整備

文化振興

郷土の歴史や文化を活かした町づくりを行います

地域活動予算を設定し、地域内で運用を決定執行する仕組みづくり

地区公民館に町長部局職員を配置し、各地域活動を支援

職員の職務分掌を明確化し、職務評価の適正化を図る

公的建造物構造物の長寿命化を図るとともに、維持修繕を適切に実施

まちづくり

地域の持つ強みを活かす各地域別営農計画の策定

農業所得向上のため、6次産業化の推進（加工場・販売組織設立）

将来にわたって豊かな農地を継続するための土地改良などの実施

観光農園など体験型農業施設を設置し、移住者などを取り込む

地域全体の民有林を活用し、豊かな森林保全と地域活力の醸成を目指す

豊かな水資源を活かした産業

1 豊かな郷土の農地林地を活用した産業振興と雇用創出

2 将来を担う人材を育む環境作りに努めます。

3 郷土の歴史や文化を活かした町づくりを行います

4 元気で健やかな健康長寿の町を目指します

5 地域の底力を支援する体制を再構築します

「地域の力」を最大限に活かしたまちづくりを目指して



11月20日の登庁時には、多くの人が駆け付けた



町長就任式



当選証書交付式（11/14）の様子

一戸町長・町議選結果

■一戸町長選挙開票結果（獲得票順・敬称略）

得票順	候補者名	得票数
1	田中辰也（50）	4,691
2	稻葉 晉（72）	3,775
当日有権者数	11,225 人	
投票者数	8,558 人	
投票総数	8,558 票	
有効投票数	8,466 票	
無効投票数	92 票	
持ち去り	0 票	

■一戸議会議員選挙開票結果（獲得票順・敬称略）

得票順	候補者名	得票数
1	仁昌寺泰夫	660
2	山下 正勝	569
3	菅野 敦子	560
4	上山 文雄	522
5	小野寺美登	520
6	柴田 正三	497
7	田村 繁幸	485
8	山館 章子	467
9	田中 新吉	418
10	中瀬 春英	408
11	峠 勇男	400
12	駒木 二郎	390
13	上平栄一郎	379
14	田頭 健造	355
15	赤畠 博	336
16	土川 昭悦	330
17	野田 博	322
18	田村 欣一	309
19	村田 武雄	262
20	熊谷 一男	194
21	平野 祐二	66
当日有権者数	11,225 人	
投票者数	8,557 人	
投票総数	8,557 票	
有効投票数	8,451 票	
無効投票数	106 票	
持ち去り	0 票	

■各投票所の町長選挙投票率（かっこ書きは町議会選挙、その他は同数・同率）

投票所	有権者数	投票者数	投票率%
平糠保健福祉館	208	184	88.46
岩清水集会所	56	49	87.50
八木沢自治公民館	113	98	86.73
旧鳥越小学校	434	375	86.41
旧檜山へき地保育所	139	119	85.61
根反自治公民館	114	97	85.09
中女鹿地区自治公民館	156	132	84.62
女鹿館自治公民館	92	77	83.70
サラダボウル・こずや	243	203	83.54
姉帯地区多目的集会施設	374	308	82.35
鳥海地区介護予防拠点施設	220	179	81.36
来田地区世代交流センター	195	158	81.03
小鳥谷地区公民館	842	681	80.88
小繫多目的集会施設	70	56	80.00
一戸南小学校	1,146	899	78.45
小友ふれあいセンター	230	179	77.83
摺糠自治公民館	353	273	77.34
月館自治公民館	278	213	76.62
一戸町役場	1,795	1,373	76.49
出ル町つどいセンター	188	141	75.00
田子自治公民館	83	62	74.70
面岸保健福祉館	79	59	74.68
奥中山高原軽井沢プラザ	285	209	73.33
双畑多目的集会施設	72	52	72.22
町立高齢者創作館	1,622	1,171 (1,170)	72.19 (72.13)
旧宇別へき地保育所	267	187	70.04
奥中山地区公民館	1,498	981	65.49
上小友集会所	73	43	58.90
計	11,225	8,558 (8,557)	76.24 (76.23)

任期満了に伴う一戸町長選挙と一戸町議会議員選挙が行われ、即日開票の結果、町長には前町議の新人田中辰也氏が初当選、議員は新人5人を含む14人が当選しました。町長選挙は8年ぶりの選挙。2人が立候補し、田中氏が当選に必要な法定得票数2116票を越え、4691票を獲得しました。投票率は76.24%。また、町議選は、定数14議席に新人8人を含む21人が立候補し、候補者にとっては厳しい選挙戦となりました。投票率は76.23%。投票率は、8年前に選挙戦となつた2009年の町長選と32ポイント下回り、2013年の町議選からは10.82ポイント上回りました。

新生議員の紹介

11月12日に行われた町議会議員選挙では、新たに14人の議員が誕生しました。

住民の目線に立ち、住みよいまちづくりを目指す14人の議員をご紹介します。

※掲載は、当選回数順、年齢順になっています。年齢などは、就任時の12月7日現在で表記しています。



田村 繁幸
【たむら・しげゆき】
一戸向町・74歳



菅野 敦子
【かんの・あつこ】
高善寺蒼前久保・74歳



上山 文雄
【うえやま・ふみお】
中山大塚・69歳



駒木 二郎
【こまき・じろう】
姉帯下村・81歳



山下 正勝
【やました・まさかつ】
中山大畑・64歳



中瀬 春英
【なかせ・はるひで】
根反中瀬・73歳



上平 栄一郎
【かみたいら・えいいちろう】
檜山下檜山・73歳



峠 勇男
【とうげ・いさお】
月館稻荷・69歳



柴田 正三
【しばた・まさかつ】
鳥越滝ノ沢・50歳



田頭 健造
【でんどう・けんぞう】
一戸北館・70歳



小野寺 美登
【おのでら・よしのり】
小鳥谷鹿口・66歳



仁昌寺 泰夫
【にしょうじ・やすお】
小鳥谷仁昌寺・63歳



田中 新吉
【たなか・しんきち】
中里武道平・62歳



山館 章子
【やまだて・あきこ】
奥中山西田子・48歳

誰もが住みたいと思う町に いえ





岩坂 一士 さん
めぐみ薬局
(薬局長)
☎ 31-1800

訪問薬剤指導では、薬を飲んでいるかどうかの確認、薬の飲み間違いを防ぐお薬カレンダーなどに薬を振り分けたりするなど、正しく薬を飲んでもらえるように努めています。また、血圧などの測定も行い、体調に変化がないかも確認するようにしています。独居老人が増える中、患者さんのお宅に訪問することで家の雰囲気や薬の減り方を把握できるので、適切な指導を行うことが出来るのが大きなメリットだと感じます。また、人によっては数か所の医療機関に通っている人もいらっしゃいます。さまざまな種類の薬をまとめて管理できる点も訪問薬剤指導の強みです。薬局では、健康に関する相談にも応じますので、気軽にご相談ください。



城 茂治 さん
奥中山高原歯科
クリニック(院長)
☎ 35-2011

昨年の5月に当院の院長に就任してから、訪問歯科診療を始めました。訪問歯科診療では、むし歯の治療や入れ歯の作成などクリニックでできることのほとんどを行なうことができます。この中でも、当院では口の中を清潔に保つ「口腔ケア」に力を入れています。加齢とともに、体の機能が衰えると自力で口腔環境を整えることが難しくなってきます。口腔内の環境を整えることが全身の健康を保つことにつながっていきます。実際にご自宅に訪問すると、患者さんにとても喜んでもらえます。訪問で行う治療には、いくつかの制限は出ますが、患者さんの状況に合った医療をこれからも提供していきたいです。

訪問薬剤指導では、薬を飲んでいるかどうかの確認、薬の飲み間違いを防ぐお薬カレンダーなどに薬を振り分けたりするなど、正しく薬を飲んでもらえるように努めています。また、血圧などの測定も行い、体調に変化がないかも確認するようにしています。独居老人が増える中、患者さんのお宅に訪問することで家の雰囲気や薬の減り方を把握できるので、適切な指導を行うことが出来るのが大きなメリットだと感じます。また、人によっては数か所の医療機関に通っている人もいらっしゃいます。さまざまな種類の薬をまとめて管理できる点も訪問薬剤指導の強みです。薬局では、健康に関する相談にも応じますので、気軽にご相談ください。

ニーズの高まり

医療の現場が、自宅に変わる



①【訪問診療】信頼する武田力男医師の訪問で、自宅でも安心できる医療を受けられる。②【訪問薬剤指導】お薬カレンダーに次回訪問時までの薬を振り分ける。③きれいに分類されたお薬カレンダー。④【訪問看護】真心を持って、接することを忘れない。⑤【訪問歯科診療】自宅が診療室に変わること。

しています。

病院の機能は高度化・細分化された先端医療に対応できるように整備され、退院する患者は継続した医療を通院もしくは自宅で受ける必要が生じます。患者や家族を支える介護サービスの環境整備が整ってきたことも退院につながる要因の一つです。今後は、患者が生活する地域での在宅医療を含んだ多職種による支援が求められるようになります。

在宅医療には、いくつかの種類があり、訪問診療や訪問看護、訪問歯科診療や訪問薬剤指導などが挙げられます。

近年、雑誌やテレビなどでも大きく取り上げられ、全国的に在宅医療が注目されています。核家族化や老老介護などの社会的背景の変化に伴い、入院しても治しきれず、生活支援が必要となる対象者が増加することが予想されます。きめ細やかな医療の提供は、社会全体を支えることにつながります。また、医療も急速な進歩を遂げ、退院できる患者が増加しています。

在

宅医療とは、医師や看

護師などの医療従事者

が自宅や施設を訪問し、医療

行為を行うことです。

近年、雑誌やテレビなどで

も大きく取り上げられ、全国

的に在宅医療が注目されてい

ます。

核家族化や老老介護などの社会的背景の変化に伴い、入院しても治しきれず、生活支援が必要となる対象者が増加することが予想されます。きめ細やかな医療の提供は、社会全体を支えることにつながります。

また、医療も急速な進歩を

遂げ、退院できる患者が増加

しています。

当院では、一般科と精神科で訪問診療を行っています。一戸町では、ねたきりの高齢者が増え、通院には家族に負担が掛かる場合があります。本人はもちろんですが、訪問診療は家族の支えにもつながります。私たちの訪問で、少しでも移動に掛かる負担が軽減できればと思います。しかし、医師だけでは、看取りの医療までは提供できません。マンパワー不足の解消、行政・介護ともさらなる連携を図り、地域一体となった切れ目のない医療に取り組まなければいけません。住み慣れた地域で皆さんが暮らせるように、退院に向けた専門職も配置し、支援しています。退院後に安心できる生活を送れるように、医療を提供していきます。

嶋野小百合 さん
岩手県立一戸病院
(看護師)
☎ 33-3101



訪問看護では、患者さんや家族が地域の中で自分らしい生活を送れるようにセルフケア機能（健康維持のための自己管理）の向上を目的としています。基本的な看護ケアのほかに、薬の服用方法や経済面でのアドバイスなど、家族の負担をなるべく減らせるように心掛けています。また、心配ごとや悩みなどを確認し、不安を解消できるように努めています。私たち自身も訪問看護を行うことで、やりがいを感じ、励みにもつながっていることは大きなプラスです。今後も、訪問看護への需要は高まつくると思われます。地域のための県立病院として、院内の整備を進め、町民の方の要望に応えられるように努力していきたいです。

町の在宅医療の未来

コンパクトな町だから、「顔の見える関係」が築ける



一戸町在宅医療推進会議 委員長
佐藤 元昭さん（県立一戸病院 理事）

Motoaki Sato

平成27年の7月から一戸病院では、在宅医療に力を入れています。当院でも在宅医療は、家族の方からとても好評を得ています。患者のための在宅医療ですが、半分は家族のためです。要介護者の介護者には日常生活において、大きな負担が掛かります。声を掛け、励ますことが支えにつながっています。すると実感します。

通院困難者の中には、医療機関に行かなくなる方もいます。治療や薬の服薬は継続が重要です。中断してしまうと、症状が悪化し、大事に至る場合もあります。これを防ぐた

めにも、在宅医療は大きな役割を果たすと感じています。在宅医療の充実には、皆さんの協力が不可欠です。在宅医療の充実には、皆さんの協力が不可欠です。記録してもらえると、医療関係者も詳細が把握しやすく、適切な医療・アドバイスを提供することができます。

町だけではなく、社会全体で高齢化が進み、入院患者は増えていきます。しかし、医療の受け方にも個人の意思が尊重される時代になつてきています。必ずしも入院しなくともいい方もいる中で、従来の医療体制では対応しきれない部分も生じてきます。個人に応

じた支援を提供できる新たな仕組みが求められています。

町としては、今年設立した

「一戸町在宅医療推進会議」

を通して、医療と介護、生活支援などさまざまな分野の関

係者の「顔の見える関係」を

築いていくことが求められて

います。しかし、異なる分野

の連携は簡単でなく、まだま

だこれから検討が必要です。

一戸町は、規模が小さい町

ですが、これは大きなメリッ

トです。コンパクトな町だか

らこそ、意志疎通が取りやす

く、誰もが自宅で安心して過

ごせる地域の実現に向かえる

はずです。

Q 在宅医療のQ & A

A Q 症状やケアプランによつては在宅医療を受けられます。	A Q 急変時の在宅医療は？	A Q 費用は高くならないの？	A Q 在宅医療の種類は？	A Q 在宅医療を受けたい時は？	A Q 対象者は？
現状、町内では看取りは行つていません。緊急時は、救急車を呼んでください。	通常診療と費用は変わりません。訪問診療費は追加されますが、公共交通機関やタクシーでの移動を含めると通院より、安くなる場合があります。また、医療保険もしくは介護保険が適用になります。	通常診療と費用は変わりません。ほかにも、歯科医師や薬剤師、理学療法士、管理栄養士など多職種の訪問があります。	訪問診療や訪問看護などがあります。ただし、あくまで症状が落ちていて、通院困難な方が対象になります。	かかりつけの医師や看護師に気軽にご相談ください。	かかりつけの医師や看護師に気



間館 タヨさん
(一戸本町)



田村 一成さん
(一戸大越田)

お医者さんが家に来てくれることは、とても安心できて、良いことだと思います。月に1回程度、公共交通機関やタクシー、家族の送迎などで、通院することは高齢者・家族にとっては負担になります。自宅で、自分の体が動く内はやりたいことをして、過ごせることはとても幸せなことだと思います。そのためにも、医療機関や行政が手を取り合い、安心して、在宅で過ごせるシステムを構築してほしいです。

在宅医療について、町民に聞いてみた

個人に合った、在宅という選択肢

思い描く自分の未来

三崎 麻衣さん
(一戸樋ノ口)



滝川 栄昭さん
(小繁小繁)



在宅医療という言葉は聞いたことがあります。詳しくはないですが、子育てをしながらの在宅医療は、家族にとって金銭的にも、肉体的にも厳しいように感じます。万が一の時に、病院や施設にいる方が安心できます。医師の訪問や家族の不安解消など、寄り添ってサポートできる体制が充実していないと、利用には気が進みません。しかし、行政や医療機関の支援・連携がしっかりとすれば、家族にも受け入れられると思います。

今後の町を考えると必要なことがあります。しかし、多くの人の助けにつながることだと思いますが、医療機関の体制は整っているのでしょうか。市町村の多くは、医療従事者の数が、不足していると聞いています。継続して、在宅医療を行っていけるのか、不安を感じる点はあります。現在の高齢者の状況を考えると、自宅という概念だけでなく、施設に入り、まとめて在宅医療を受ける選択肢もあると思います。

選択肢は人それぞれ



できなくなつたことは増えたけど
一緒に家で過ごせることが幸せ

山田太助さん・ミドリさん

高齢者の増加する中、在宅医療は欠かせない存在です。

退院後に在宅での日常生活を送るために、どうすれば良いのか。不安に押しつぶされそうになります。

しかし、その時に地域や家族、病院などが手を差し伸べてくれることで、自宅で自分らしく暮らしていくと感じることができます。療養も不安は軽くなります。これから医療・介護が一層密着した関係になっていきます。

町の新たな医療形態は、ともに創り上げる身近な医療へと変貌していきます。

医療の選択肢は1つではありません。自由に医療機関を選べ、多様化する生活スタイルに合わせて個人に合った医療を選択することができる時代になっています。

この一戸町、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるための鍵。それは、町全体で患者を支え、見守っていく人たちの存在。まずは知ることから、在宅医療の可能性を。

未来への体験談 ~山田太助さん・ミドリさん~

患者だけでなく、家族の大きな支えに

「年」を取るごとに歩くのがきつくなつて

くなつていた。

1月には、低血糖を引き起

と今では、訪問する看護師たちに全幅の信頼を置く。

在宅医療を継続していくた

くし、緊急入院。その後、病院への入退院を繰り返した。

「主治医にも、『これからは

なにがあつてもおかしくない

よ』と通告され、不安でいつ

ぱいだつた』と涙をぬぐう、

ミドリさん。

そんな矢先、退院際に看

護師から「訪問看護を利用し

てみませんか」と勧められた。

ミドリさんは、看護師を自

宅に入ることに多少の抵抗

を感じながらも週に1回の訪

問看護をお願いした。

しかし、そんな不安はあつ

という間に吹き飛んだ。当初

は緊張をしていた太助さん

も、慣れてくると家で看護処

置を受けられることは快適と

笑顔を見せた。

「看護師さんはいつも

ニコニコしながら、来てくれ

る。自宅の雰囲気が明るく

なつたように感じ、元気をも

らえる。常に状況を確認して

さそくに笑つた。

山田さん夫妻は結婚して、

半世紀以上が過ぎた。それで

も太助さんは「妻のことは全

部、好きだった。今でも気持

ちは変わらないよ」と照れく

見合わせる。

「できなくなつたことは増

えたけど、一緒に家で過ごせ

ることが幸せ」と二人は顔を

見合わせる。

山田さん夫妻は結婚して、

半世紀以上が過ぎた。それで

も太助さんは「妻のことは全

部、好きだった。今でも気持

ちは変わらないよ」と照れく

見合わせる。

山田さん夫妻は結婚して、

半世紀以上が過ぎた。それで

も太助さんは「妻のことは全

部、好きだった。今でも気持

<

演 あっという間のコンサートが開催 奏できる喜びを、音で表現



息のそろった演奏で、会場は大いに盛り上がった。

一戸小学校金管バンドによる「あっという間のコンサート」(同後援会主催)が11月22日、一戸町体育館で行われました。今年のテーマは御所野縄文遺跡をイメージし、同後援会の手づくりの縄文服で身を包み、自然への祈りや感謝の気持ちを音と動きで表現しました。10月のマーチングバンド・バトントワーリング東北大大会に出場した大会曲「WORLD HERITAGE — 縄文の風 —」を含む9曲を披露し、会場を盛り上げました。

い 町内2校で人権教室を行 じめ撲滅を訴える

盛岡地方法務局二戸支局などが11月22日、一戸小学校と奥中山小学校で人権教室を行いました。

奥中山小学校では、4年生19人に対して、町の人権擁護委員がいじめを題材としたDVD上映を通して、他者に対する思いやりや優しさの大切さを訴えました。この教室は、人権に対する根本的な考え方を理解してもらうことが目的です。例年、町内から2校の小学校に対し、教室を開いています。



奥中山小児童に思いやりの心について話す、町人権擁護委員

節 小鳥谷小が創立140年 目の年を全校で祝う



140年の節目の年を祝い、校歌齊唱する児童たち

小鳥谷小学校(佐々木義孝校長、51人)が創立140年を祝して記念式典を10月28日、小鳥谷地区公民館で開催しました。

式典には、歴代の教員や同校OB、地域住民ら約130人が出席し、節目の年を祝いました。

式典後には、「アンダーパス!」による記念コンサートが行われました。同校は、明治10年に創立。これまで5,398人の卒業生を輩出しています。

地 小友公民館まつりが開催 域の魅力を存分に味わう

小友公民館まつりが11月5日、同公民館で開かれ、地域住民やベトナムからの研修生など約70人が参加しました。

会場では、5地区の部落によるエゴマやそば粉など地域で採れた食材を使用した串もちやそばが振る舞われ、秋の実りを存分に味わいました。

もちつきには多くの人が参加し、出来上がった粘りの強い餅に頬を緩めています。



もちつきに笑顔を見せる児童

震 災の風化を防ぐ

一戸小学校(大道正樹校長、189人)PTA研修部が主催する「復興シンガーソングライター・光(ひかる)さんのトーク&ライブショー」が11月25日、同校体育館で開催され、全校児童のほか保護者ら約90人が参加しました。このステージは、学校公開「学校へ行こう」のPTA講演会として、開催。山田町出身の光さんは、東日本大震災の風化を防ぐために県内各地で活動しています。ライブ前には、震災の被害や現在の状況をパネルで紹介。当時の津波の高さをクイズ形式で伝えると、児童からは驚きの声が上がりました。ライブでは、多数の復興応援ソングが披露され、特に山田町への思いを込めた「私の愛する、この町。」には、多くの人が聞き入りました。

光さんは「日常こそが大切なことだと気付きました。皆さんも大事にしてほしいです」と呼び掛け、来場者の多くの拍手に包まれました。



①光さんが山田町で集めた貝殻を通して、児童に震災の悲惨さを訴える。②手拍子をして、ライブに見入る児童。③復興への思いを込めた曲を多数披露。

私 町教研で町内児童生徒が遺跡を案内 たちが案内します

町学校研究会の一部として町内の小中学生が10月6日、御所野遺跡で教職員に同遺跡の魅力を伝えました。

一戸中学校(中嶋敦校長、193人)の2年生6人と一戸南小(菅原佳子校長、92人)の6年生14人が町内の教職員約80人をガイド。児童生徒が、研究してきた縄文文化の知恵や現代に継承された文化などについてすらすら説明すると、教職員は驚いた表情を見せ、質問を投げ掛けていました。



御所野遺跡の魅力を伝える一戸南小の児童

一戸小で復興支援のトーク&ライブショー

ダ 一戸社交ダンス愛好会が30周年 ンスのステップ軽やか

一戸社交ダンス愛好会30周年記念パーティーが9月17日、コミュニティセンターで開催され、華やかに着飾った参加者が楽しそうにステップを踏みました。

町内外の子どもから大人まで約150人が参加。友情出演となった十和田市や久慈市のダンスサークルも参加し、30周年をともに祝いました。2007年から同会の会長を務める村田武雄会長は「体力づくりにも効果的。これからも楽しんで活動していきたいです」と話しました。



パーティーには多くの人が駆け付け、社交ダンスを存分に楽しんだ

プレオープンは1月15日(月) 受講者募集

まちづくり課
33-2111 内線212

一戸町公営塾が開講

町では、子育て支援の一環として児童の放課後学習支援を目的とした塾を開講します。

子どもたち一人ひとりの夢を叶えてほしいという願

ICTを使い、個々に寄り添った指導

- タブレット端末とデジタル教材を使った自動での採点で、マル付けを待たずに自分のペースで進められます。
- 解ける児童は、難易度の高い問題が自動的に出題され、挑戦することができます。

子どものやる気を引き出します

- 採点結果の分析に基づく不得意なポイントに合わせた出題が苦手克服をサポートします。
- 正解すると現れるハンコやトロフィーなど目に見えて、うれしい工夫が興味を持続させます。

宿題や家庭学習の習慣を身に着けます

- 繰り返しの学習による効果を実感させます。
- 学習意欲を高め、家庭での自習の取り組みを促します。

開講日 平成30年1月15日(月) (プレオープン)
平日(水曜除く) 16:00 または、17:10
から50分間

場所 町民文化センター

対象 町内在住の小学3~6年生(先着160人)

講師 民間学習塾の支援を受けながら、地域おこし協力隊員が講師を務めます。

申込方法 開講後に会場で配る申込用紙で、申し込みください。

問題の正解数に応じて
コインをゲット!
貯まるといい
ことがあるかも?

いを込め、「一戸町公営塾」は、小学生のうちに家庭学習の習慣がしっかりと身に付くように勉強の仕方を分かりやすく教え、確かな基礎学力を養成します。

やる気アップ
成績アップ
夢実現



まちづくり課
33-2111 内線212

総合保健福祉センター

らは、周囲の関わりの工夫次第で上手に引き出することができます。

そのためには、早い時期から子どもの得意なこと、苦手なことに気付

くことが大切です。

町では、小学校入学前の児童を対象として、小集団での遊びの場を通してさまざまな経験をして身体やこころ、言葉などの発達を応援する「めだか教室」を実施しています。

また、その他支援機関のご紹介もしています。子どもの成長や発達について気になることや心配なことがありましたら、ご相談ください。

やる気のできる! 関わりの工夫例

どのお子さんにも当てはまる!



子どもの成長・発達について、ご相談ください

育児がうまくいかない…と思っていることはありませんか?

もしかすると、子ども自身も保育所や幼稚園などの集団生活の中で困っていることがあるかもしれません。

現在、苦手なことが目立っていたとしても、子どもはそれぞれの“良さ”や“力”を持っています。それ

地域包括支援センター

■対策

①入浴前に、脱衣室を暖房器具で暖かくしておく(できれば20度くらい)。

②浴室が温まったら、裸になる前にシャワーなどでお湯を張ったり、浴槽のフタを開けるなど湯

▽浴室で倒れている人を発見した場合の対処法



急救車を呼ぶ場合は、意識(反応)があるかどうか、呼吸の有無を確認し、速やかに119番通報をしましょう。AEDがある時は用意しましょう。

■ヒートショックとは

急激な温度差によっておこる体調トラブルのことです。特に注意が必要なのは冬場の入浴です。

寒い脱衣室・浴室から熱い浴槽に入ると、温度差で血圧が急上昇、急降下し、脳や心臓に大きな負担を与えます。時には、命に危険が及ぶこともあります。

★保育施設開放(1月9日火) 9:30~12:00

鳥海保育所 32-2220 小鳥谷保育所 34-2524
奥中山保育所 35-2319

◎子育てサークルのびのび 32-3770
平日の(月)・(水)・(金) 9:30~14:30
※役場隣の旧保健センター

◎るんだ・るんだ 35-2314
毎週(火)・隔週の(土) 10:00~12:00
※中山字大塚4-6

○まちの健康相談室

(イコオショッピングセンター内
33-4535)

町の皆さんの健康相談などに応じます。

※土曜日を除き毎日開設
時間 10:00~17:00
(曜日によって異なりますが、休止する場合もあります。)

日時	内容
12月24日(日)	健康 10:00~17:00
27日(水)	傾聴 10:00~12:00 おはなし 13:00~15:00
28日(木)	健康・心配ごと 10:00~17:00

元気に活動中。一緒に活動しませんか？



一等星

（岩手トヨペツト株式会社
二戸支店）
淨法寺出身の小船一希さん
ん。3年前に東京の専門学校を卒業後、岩手県にUターン就職し、岩手トヨペツト（株）二戸支店でエンジニアとして働く。
主に自動車の整備や点検を行つてゐる。

「整備の仕事は難しいです。試行錯誤を繰り返して覚えていきました。今では、車種によつて整備箇所を予想できるようになつてきました」と小船さんは、うれしそうな表情を見せる。後輩も今年になつてからできたようで、自分が教えてもらつたように頼られたいと先輩の自覚も出てきた。

仕事に慣れたが、小船さんは毎日の仕事に全力を注ぐ。「自分の仕事にミスは許されないです。少しの油断がお客さまの命に関わります」と真剣なまなざし。

そんな小船さんのリフレッシュ方法は、友人や同期との食事。プライベートでも充実し、休日には家にいなさいことの方が多いそうだ。



このコーナーは、町内幼稚園、保育園の3歳児全員の作品を毎月順番に紹介します。1月号は一戸保育所の園児の作品です。

■さくらの会



笑顔の絶えない活動でした

◎代表の大久保蝶子さんから話を聞きました。

さくらの会は、毎月第2、第4日曜日の10:00から15:30に川原田自治公民館で活動し、毎回約10人ほどが参加しています。古くなった着物から服や小物などの製作、踊り

や料理作りを行い、楽しんで活動しています。また、年に2回の旅行も計画しています。どちらの地区の方でも、年齢問わずご参加できますので、私たちと一緒にやったかった時間をお過ごしてみませんか。

短歌

十月短歌・俳句会
一戸町文化協会短歌・俳句部会
会場 小鳥谷地区公民館

米寿なる姉は静かな笑みうかべ
皆に囲まれ過ぎし日言はず
刈りあととの田の水溜り蛙とび
月影ふわり泡となり消ゆ
トラクターに相乗りしたる月の夜
淡く浮かびて遠くまで見ゆ

俳句

豆腐屋の喇叭ひと吹き秋深し
色めでて食卓に置くあけびの実
友知らす夕焼け深く町包む
満月や悪阻つわり軽しと受話器より
秋夕べ天気占う下駄飛ばす
大つぶの茹栗もらひポケットへ
秋キヤベツ刻む音にもリズムあり
裏町のしじま黙に独り月を観る
湖うみかわ河に白鳥飛来波しづか
温泉路曲れるごとに秋深む
秋晴や文面あまた哲郎展

仁昌寺 洋子 柴田 のぞみ
東山 智子 中館 木実 佐々木 悅子
遠藤 道子 馬場 洋子 岩渕 良子 山火 あきら
高木 満里 柴田 サヨ子

※背景の模様は、柴田外男 広報編集委員長（中山大塚）がデザインしました。



まちのお知らせひろば

問=問合せ、申し込み先

戸籍だより (10月届出分)

☆お誕生おめでとう

名前 保護者 住所
樋口 美衣 妻・智佳 高善寺古館平

■ごめい福をお祈りします

名前 住所 年齢

沼澤 トキ 面岸松長根 88

千葉 トミ 小友半在家 86

山下 トヨ 中山軽井沢 94

与羽 ハツノ 出ル町与羽 90

上平 キミエ 楢山下楢山 82

中村 正巳 小鳥谷中屋敷上 73

西館 裕二 中山大塚 31

戸田 キヨ 一戸向町 98

寺林 忠好 小鳥谷上里 63

扇田 ヒデ 中山家向 78

平野 盛逸 小鳥谷道地 83

小野寺 ツヤ 西法寺諏訪野 90

中村 イツ 女鹿女鹿館 93

久保 松次郎 高善寺大川鉢 90

大久保 スミ 高善寺古館平 78

久保 タマ 一戸小井田 92

戸部 キヨミ 高善寺野田 84

(敬称略)

※上記内容は、戸籍届出により本人、家族が記載希望した内容を掲載しています。

※広報への掲載を希望しない場合は、届出の際に戸籍担当まで申し出てください。

※氏名が常用漢字で表記されることがあります。

その症状は石綿（アスベスト）が原因かもしれません

石綿（アスベスト）による疾病と認定された場合は、各種給付を受けることができます。

過去に石綿を取り扱う仕事をしていなかったか、吸い込んだことはないか、思い出してください。また、ご家族が石綿による疾病で亡くなられた方も給付の対象となる場合があります。

■対象となる疾病

- ①中皮腫
- ②石綿起因性肺がん

③石綿肺

④びまん性胸膜肥厚

⑤良性石綿胸水

労災保険法に基づく療養補償給付や休業補償給付は発症から2年以内であれば請求できます。

遺族に対する給付もありますので、詳しくは下記へご連絡ください。

問岩手労働局労災補償課

☎ 019-604-3009

二戸労働基準監督署 ☎ 23-4131

食物アレルギーと安全安心を考えるシンポジウム

食物アレルギーについて、発症の仕組みや予防・対処法の知識やアレルギーへの理解を深めるため、シンポジウムを開催します。

■日時 平成30年1月9日(火)～12日(金)

竹細工講習会を開催

地域の伝統工芸、竹細工の講習会を開催します。

■日時 平成30年1月9日(火)～12日(金)
9:00～15:00

■場所 高齢者創作館

■参加費用 2,500円

■定員 15人

■申込期限 12月27日(水)

問高齢者創作館 ☎ 33-3607(平日午前)

■内容

講演やパネルディスカッションなど

■入場料 無料 ■定員 180人

■申込方法

電話、FAXまたはメールに①所属、②氏名、③居住市町村、④電話番号を添え、平成30年1月5日(金)までに下記へ申し込みください。

問県庁・県民くらしの安全課

☎ 019-629-5322

FAX 019-629-5279

メール：AC0009@pref.iwate.jp

岩手県県民の森のイベント

■門松教室

▷日時 12月23日(土)

9:00～12:00

▷場所 森林ふれあい学習館

▷持ち物

剪定ばさみ、軍手、上履きなど

▷参加費 3,500円

問森林ふれあい学習館フォレストi

☎ 0195-78-2092

一戸町と近隣市町村の休日当番医

■休日当番歯科医 診察時間 9:00～12:00 ■休日急患当番医 診察時間 9:00～17:00

月日	当番歯科医(管内)	電話	休日当番医(管内)	電話	休日当番医(岩手町)	電話	月日	当番歯科医(管内)	電話	休日当番医(管内)	電話	休日当番医(岩手町)	電話
12/23	沢藤歯科医院	25-4002	おりの内病院クリニック	22-2251	岩手沼宮内クリニック	61-2025	1/1			川村医院	23-3252	佐藤整形外科クリニック	68-7240
24	ぼっぽ歯科クリニック	32-2238	浄法寺診療所	38-2021	北上脳神経外科クリニック	61-3636	2	菅歯科	23-5161	いちの内科クリニック	33-2701	さわやかクリニック	62-2043
29					さわやかクリニック	62-2043	3	ほんだ歯科クリニック	23-9591	カシオペア医院	23-3331	佐渡医院	62-3211
30	右門歯科クリニック	38-2288	松井内科医院	33-2201	佐藤整形外科クリニック	68-7240	7	ぼっぽ歯科クリニック	31-1182	齋藤産婦人科医院	23-2505	塙谷医院	62-1155
31	國香歯科医院(裏小路)	23-2223	菅野外歯科医院	23-7311	沼宮内病院	62-2511	8	菅原歯科医院	27-3301	二戸クリニック	25-5770	岩手沼宮内クリニック	61-2025
							14	こしみず歯科クリニック	33-4618	ふくもりこどもクリニック	43-3137	北上脳神経クリニック	61-3636

※当番医は変更になることがあります。事前に電話で確認してください。

町の情報、防災情報を配信！ いわてモバイルメールホームページ

<http://www.highway.pref.iwate.jp/mobile/> ※このURLまたは右のバーコードから登録できます。

■登録手順

- ①「サービスを始めてみる」を選び空メール（本文に何も記入しないメール）を送信
- ②「モバイルメール」から届くメールに書かれたリンクにアクセス



#数字で見る一戸町 (10月末時点)

事故・犯罪

人身事故	1件 (前月 0件)
死者	0件 (前月 0件)
負傷者	1件 (前月 0件)
物損事故	10件 (前月 20件)
刑法犯総数物	0件 (前月 1件)
内訛	-

火災・救急

火災	1件 (前月 0件)
救急	61件 (前月 39件)

人の動き

人口	12,861人 (前月比 - 23人)
男	6,165人 (前月比 - 6人)
女	6,696人 (前月比 - 17人)
世帯数	5,777世帯 (前月比 - 12世帯)
転入	18人 (1月からの累計 236人)
転出	18人 (1月からの累計 308人)
出生	2人 (1月からの累計 46人)
死亡	19人 (1月からの累計 186人)
排出量	247トントン (前月 248トントン)
町民1人1日	518グラム (前月 524グラム)

ごみ

※1日の排出量は人口により変動

奥中山高原・来田温泉 町民割引券

(広報12月号～H30.1.31まで有効)

この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引額でご利用できます。

※本券1枚につき1人有効。

おとな	◇煌星の湯・朝朱の湯
こども	100円引き
おとな	50円引き
こども	◇来田保養センター
おとな	休館日 第1週、第3週火曜日
こども	320→270円
おとな	430→380円
こども	200→150円

フォーラム「岩手県北の縄文文化を世界遺産に」を開催



町民割引券について

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、まちの皆さんを利用しやすいよう、割引券を発行します。

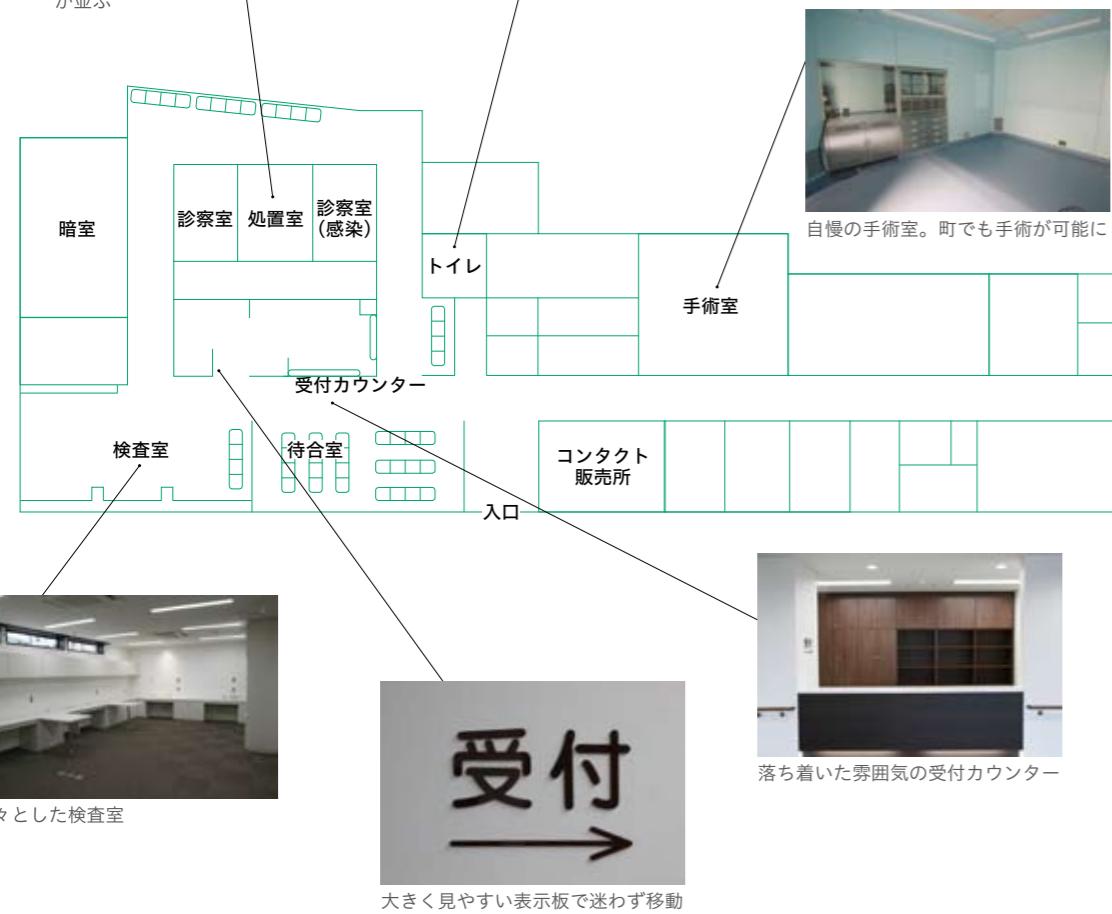
点線で切り取り、ご利用の際にフロントなどに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。



診察室、処置室、感染者用の診察室が並ぶ



ベビーチェア付きのトイレも用意。子どもを連れての来院もできる



広々とした検査室



医療法人社団 緑翠堂
森 敏郎 理事長
(森眼科クリニック院長)

一戸町は、街並みに昔の風景が残っているとても深みのある町だと思います。この地で開院できたことをうれしく感じています。

戸森眼科は、町の皆さん「地域に眼科が必要」という声に応えるため、森眼科クリニック(盛岡市)の分院という形で、日々進歩に実現した眼科です。森眼科クリニック(盛岡市)は、眼科がないために受診する時は、近隣市町村に行かざるを得ませんでした。町の眼科が町内にできたことで、より親しみやすく、来院していただけると思います。

当院の大きな特長は手術を

することができる点です。遠くから来られて、自宅に帰れる」とは経済的にも精神的にも負担が軽くなり、患者さんにとっては大きなメリットだと感じます。スタッフとともに、皆さんに親しんでもらえるクリニックを目指していきますので、よろしくお願いします。

眼科の第二公設クリニック 一戸森眼科 12月21日(木)、開院



一戸森眼科の案内

● **スタッフ** 理事長 森敏郎
院長 菅原剛
そのほか、看護師や事務職など7人

● **診療科目** 眼科

● **診療時間** 午前 8:30~12:00
午後 13:30~17:00
休診 水曜・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	×	○	○	○
午後	手術	○	×	○	○	×

● **問合せ** ☎ 26-8001
FAX 26-8002

● **アクセス** 一戸字向町108番地1



● **駐車場** 14台

● **内覧会** 12月16日(土)午前
開院前にクリニックの施設内を公開します。
ご自由にお越しください。

町では、皆さんの健康と密接に関わる町内の医療体制を拡充するため、中心市街地に公設クリニックを建設しました。

開院するのは、一戸森眼科(森敏郎理事長)です。

「公設民営」にしたことにより、日々進化する社会の医療ニーズに対応することができます。

一戸森眼科は、盛岡市で信頼と安心な医療を提供する「森眼科クリニック」の分院となります。



一戸町地域おこし協力隊任命式



一戸町初の地域おこし協力隊員 子どもたちの成長に一役を担う



一戸町地域おこし協力隊

荒内 雅美さん
(=青森市出身)

一戸町について、知らないことがたくさんあります。町初の協力隊員として、頑張りますので、よろしくお願いします。

「学

習支援員として、町の子どもたちの人才培养に一役を担いたいです」と抱負を語るのは、12月1日から一戸町初の地域おこし協力隊に任命された荒内雅美さん。

同日には辞令交付式が行われ、荒内さんは、田中辰也町長から「これまでの経験を活かし、新たな視点で活躍してほしい」と、辞令を交付されました。荒内さんは青森県青森市出身で、盛岡市で不動産会社などに勤務。他職種からの視点、過去に培った家庭教師や塾講師の経験を活かし、任期となる最長3年間、来年1月に開講予定のタブレットを活用した「一戸町公営塾」の学習支援員として、町内小学生の学力向上に取り組みます。

辞典とは、事物について詳細に書かれたもの。一戸町の知る人ぞ知る魅力を、お届けします。

編
集
後
記

今回の特集は「在宅医療」です。現在、日本人の多くにとって、医療は身近な存在であり、切り離せないもの。あまりに身近にあるために、治療については自然と医師に依存してしまいます。町の在宅医療には、さらなる制度の充実が望まれます。そのために、医師は熱心に訪問し、介護・町などとともに連携を図り、安心できる医療の提供を目指しています。しかし、患者もしくは家族が「家で治療を受けたい・療養したい」という選択をしなければ、在宅医療の充実は難しいです。治療・療養の形は人それぞれです。経済状況・生活環境などさまざまな要因が挙げられます。しかし、在宅医療を選べる環境が整っているのならば、選んでみませんか。この町にはその選択肢があります。

まちづくり課 猪久保 俊介

◎広報いちのへ12月号の印刷経費は1部65.6円(税込)です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。

広報いちのへ

32